

Q. ゲームを取り入れると、「外国語活動」ではなくて、レクになってしまわないかと心配です。より効果があがるようにするため、ゲームを進める上での留意点を教えてください。

A 外国語活動では、英語に慣れ親しみ、コミュニケーションの素地をつくるのが大切です。「ボディー・ランゲージ」といいますが、身振り手振り・ジェスチャーを交えたり、また、絵を使ったりしながら児童が楽しく英語に触れる環境づくりが欠かせません。このため、ゲームを取り入れるのは効果があるのです。

(ゲームの効果)

- ①自然とアイコンタクトが生まれる。
- ②大きな声で発言できるようになる。
- ③身振り手振り・ジェスチャーが実際の会話に生きてくる。
- ④「伝え合う」という状況をつくりやすい。
- ⑤「繰り返し(反復)」の場面をつくりやすい。
- ⑥普段口数の少ない子、友達に偏りのある子も巻き込んで育てることで、学級経営にもよい影響がある。

(留意点)

- ①ゲームの目的などを十分に伝える。(場面設定、楽しくコミュニケーション、失敗は恥ずかしくない…)
- ②全員が参加できるもので、興味・関心を高めるものを選ぶ。
- ③ゲームの前に十分練習する。「チャンツ」や歌などを取り入れて練習するのもよい。
- ④ゲームの目的が果たせたかどうか、評価を行う。

アドバイス

「チャンツ(chants)」って何？

一定のリズムに合わせて、韻を踏み、言葉を言っていくことです。

リズムに乗って発音することで英語特有のリズムやアクセント(強勢)、イントネーション(抑揚)をつかむことが目的です。手拍子をしたり、体を動かしながら声を出したり、児童が無理なく英語を口ずさむことができるので、とても優れた指導方法だといえます。

また、歌と違ってメロディーはないため、リズムや個々の音を意識して練習することができ、英語特有の「単語と単語の音の結合」や「実際にはほとんど発音されない音があること」などもわかるようになります。

チャンツで練習することで、対話のときにも自信を持って発音できるようになります。